

大盛況！作家ものから日用品まで
第111回九谷茶碗まつり

5月3日から5日の3日間、九谷陶芸村を主会場に開催された第111回九谷茶碗まつり。好天に恵まれ合計で約18万人の来場者でにぎわいました。

有名作家の逸品から、日常使いできる食器までが販売され、来場者はお気に入りの品を探しテントを巡りました。窯元や作家の工房めぐり、九谷焼名品鑑定相談会、九谷名品入札会など多彩な催しが繰り広げられたほか、今年は新たに女性作家による九谷焼アクセサリ創作プロジェクト「Wear KUTANI」で制作された作品が展示・販売され、女性客の注目を集めていました。スマートフォン電子決済サービス「Pay Pay（ペイペイ）」が8割を超える店舗で導入されるといった試みや、本部テント前で先着111名に「令和」と書かれた湯飲みが配られる改元と111回目の開催を記念した取り組みが行われました。

また、今年は4月20日と21日にイオンモール新小松で茶碗まつりに先駆けて「プレ九谷茶碗まつり」が開催されました。九谷焼の販売をはじめ、絵付け体験教室や九谷ネイル体験、サイコロ抽選会など好評を博しました。



①昨年より多くの来場者でにぎわった初日の特設会場 ②「令和」にちなんだ商品も多く見られました。③緻密な柄が描かれた「Wear KUTANI」の作品 ④1点1点手に取りながら商品を選ぶ来場者 ⑤女性作家によって施される「九谷ネイル」



茶碗まつり会場で新車両を披露

のみバスの新デザインが運行開始



市のコミュニティバス「のみバス」で、市内の風景やスポットのイラストをラッピングした新車両3台を導入しました。バスに描かれた風景・スポットは、愛着を深めてもらおうと市内全8小学校の児童に考案してもらいました。

新しいバスは5月3日の九谷茶碗まつり会場で披露され、多くの来場者が市公式キャラクターのあったシートや8小学校の児童が考案したイラストを施したつり革など、車両の見学をしていました。新車両は7日から運行を始めています。

【地域密着のみバスの運転手募集】
地域住民の足である「のみバス」の運転手が不足しています。詳しくは地域振興課（☎ 58-2212）へお問い合わせください。

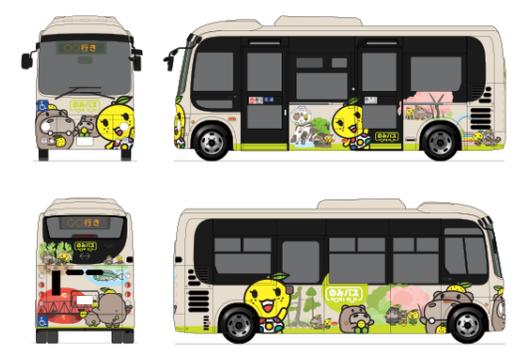
パターン1



パターン2



パターン3



新しい「のみバス」の車体には、“わたしたちが10年後も自慢したい能美市の風景やスポット”が8つ描かれています。8つのデザインは「のみバス」が運行を開始した平成20年度に生まれた市内全8小学校の児童が考えました。新しい「のみバス」は“能美の誇りを発信し、皆さまから愛されるバス”を目指していきます。

